

[A類社会コース, A類現代教育実践コース環境教育プログラム, B類社会コース 対象]

倫理 解答例

令和5年度
一般選抜前期

I 問 1

「タブラ・ラサ」とは、「白紙」を意味し、人間の心と観念の関係を説明する言葉である。ロックによれば、あらゆる観念は初めから心の中に備わっているのではなくて、経験によって生まれてくるのである。

問 2

「一般意志」とは、人々が共通に抱く意志のことであり、自由と平等、公共の利益を志向する。これに対し、個人の利益を優先する意志が「特殊意志」であり、こうした「特殊意志」の総和が「全体意志」である。

問 3

(a) ロゴス

問 4

「工作人」(ホモ・ファブール)とはベルクソンによる定義であり、諸々の目的のために道具を製作し、道具を用いて、環境に働きかけ、さまざまな活動を行うことを人間の本質的特徴と認める考え方のことである。

問 5

あらゆる存在者の中でも人間だけが、自分の存在に関心を持ち、「自分や何かが存在するとはどういうことか」という存在の意味を問うことができる。そのような人間を他の存在者とは異なり、「現存在」と呼ぶ。

問 6

(a)

[A類社会コース, A類現代教育実践コース環境教育プログラム, B類社会コース 対象]

倫理 解答例

令和5年度

一般選抜前期

II

問1

凡夫は他の一切の修行方法を捨てて、もっぱら念仏をとる（称名）によって阿弥陀仏の浄土に往生することができるということ。『選択本願念仏集』において説かれる。この思想は親鸞等に大きな影響を与えた。（98字）

問2

宇宙の根本原理であるブラフマン（梵）と個人の本体であるアートマン（我）は実は別のものではなく、一体であること。人間はこれをさとることによって、輪廻の苦悩から解放される。（84字）

問3

一切皆苦

問4

縁起

問5

大乘仏教の菩薩が修めるべき六つの徳目。波羅蜜とは彼岸（さと）に至るための行、あるいは、完成という意味である。六つとは布施・持戒・忍辱・精進・禅定・智慧である。これらは順に、ものや教えなどを与えること、戒律を守ること、耐え忍ぶこと、努力すること、精神集中、空の知恵、の完成である。このうち、最後の智慧波羅蜜（般若波羅蜜）こそが最終的に達成されるものであり、他の五つはそれに至るための階梯である。（197字）